

柳田中図書館だより

No. 2

令和6年5月7日(水)

“本屋大賞2024”発表!

本屋大賞とは、全国の書店員さんが「今いちばん売りたい本」を投票で選ぶ賞で、「日本で一番本が売れる賞」とも言われています。本屋さんが力を入れているだけあってノミネートされた本は、どれも面白いと評判です。柳田中図書館にある過去の大賞作品を紹介します。



2018年受賞作

「かがみの孤城」辻村美月

学校に居場所を無くして閉じこもっていたある日、部屋の鏡が突然光り出す。鏡の向こう側はお城のような建物で、主人公と同じような立場の人が集まっていて…。感動の長編小説。



2004年受賞作

「博士の愛した数式」小川洋子

「僕の記憶は80分しかもたない。」記憶力を失った博士のもとへ家政婦とその息子がやってくる。3人の交流をえがいた悲しくも暖かい人間ドラマ。



2021年受賞作

「52 ヘルツのクジラたち」町田そのこ

家族に人生を奪われてきた女性・貴瑚は見知らぬ街で一人暮らしを始め、そこである子どもと出会う。孤独なクジラの声は誰に届くのか。2024年3月に映画公開した感動作。



2024年ノミネート作品も近く学校図書館に入る予定です。お楽しみに!

新しく入った本

5月までに新しく入った16冊の本です。学習に関する本もいくつか入りました。借りられるように手続きを進めていますので、ぜひたくさん借りてください。

5月生まれの偉人

まきのとみたろう 牧野富太郎 (5月22日生まれ)

高知県出身の植物学者。幼いころから植物に興味を持ち94年の生涯を植物学に捧げました。2023年前期の朝ドラ「らんまん」のモデルです。



- 「水族館ガール」 ○「楽隊のうさぎ」 ○「子どもの教養 クイズで見る季語の世界」
- 「心のととのえ方 トップアスリートならこうする」 ○「似ている英語」
- 「麒麟のひづめ、人の指 比べて分かる生き物の進化」
- 「勉強嫌いでもドハマりする勉強麻薬」 ○「中学生のためのテストの段取り講座」
- 「塾へ行かなくても成績が超アップ! 自宅学習の教科書」
- 「10代から学んでほしい体と心の守り方 もし君が人を傷つけたなら、傷つけられたなら」
- 「その生きづらさ、『かくれ繊細さん』かもしれません」 ○「学校に行きたくない君へ」
- 「11歳からの正しく怖がるインターネット: 大人もネットで失敗しなくなる本」
- 「教室を生きのびる政治学」 ○「君の人生はきみのもの 子どもが知っておきたい権利の話」
- 「13歳からのアンガーマネジメント: ガマンしない・傷つけない上手な気持ちの伝えかた」